

令和4年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新家庭総合「主体的に人生をつくる」 (大修館書店)						
副教材等	最新 生活ハンドブック 2021 資料&成分表 (第一学習者社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

人はそれぞれ様々な価値観をもっており、それによっていろいろな家族や生活の形があることに気づいてほしいと思っています。家庭生活や地域社会を営むためには、男女の協力が必要となってきます。また、ニュースや社会問題にも目を向け、自分なりのライフコースを描き、“賢い消費者”になることが「家庭総合」での目標です。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実績的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などに関する技術総合的に身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費者生活、衣食住などに関する知識を総合的に身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生涯の健康を見通した食生活を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活の成り立ち ○栄養と食品 ○安全で環境に配慮した食生活 ○食の文化を考えよう ○健康につながる食事計画 ○調理の基本を学ぼう 	○	○		○	<p>a: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 食事と健康について、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c: 健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を実習を通して実践している。</p> <p>d: 栄養、食品、調理、食品衛生について科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。</p>	授業観察 ワークシート 実習レポート 自己評価 相互評価 定期考査
2学期	安全で快適な住生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ○住生活の成り立ち ○家族の生活と住空間 ○健康で安全な住生活 ○よりよい住環境の実現をめざして 	○	○	○	○	<p>a: 住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくりに意欲的に取り組もうとする。</p> <p>b: 家族に応じた住居の計画や選択ができる。</p> <p>c: 暮らしに必要な間取りを考え、平面図を読み取ることができる。</p> <p>d: 住まいの機能を理解し、その地域の気候や風土にあった住まいが作りだされてきたことを理解する。 快適な住居や安全な住居について理解している。</p>	授業観察 ワークシート 実習レポート 自己評価 相互評価 定期考査

